

公 開

平成 22 年 11 月 4 日
照会先
健康局疾病対策課
エイズ調査係 円谷・内藤（内線 2358）
（代表番号）03(5253)1111
（直通番号）03(3595)2249

財団法人エイズ予防財団 中村・永井・沢崎
（代表番号）03(5259)1811

世界エイズデーについて

1 世界エイズデーとは

世界保健機関（WHO）は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱した。我が国としても、その趣旨に賛同し、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進しており、全国各地で様々な「世界エイズデー」イベントが実施されている。

2 今年度の世界エイズデーキャンペーンテーマについて

（1）テーマ

続けよう ～Keep the promise, Keep your life～

（2）趣旨

エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図るためには、医療機関、民間企業、行政機関、NGO等のエイズ対策関係者がそれぞれの活動に取り組み続けることはもちろんのこと、我が国に在住するすべての人々がエイズ対策関係者の活動や患者・感染者に対する理解を深めるなど、HIV/エイズに対する関心を持ち続けることが重要であることを踏まえ、主として、次に掲げるメッセージを発信する。

- ① 仕事も生活も続けよう
- ② 抗レトロウイルス治療を続けよう
- ③ エイズの流行と闘う人達を支え続けよう
- ④ 予防と支援のメッセージを送り続けよう
- ⑤ ユニバーサルアクセスを目指し続けよう
- ⑥ 関心を持ち続けよう

3 実施主体及び実施方法

(1) 厚生労働省

(財) エイズ予防財団、エイズ関連 NGO 等の関係団体、民間企業、報道機関等の協力を得て、全国的な啓発活動の推進を図る。また、世界保健機関 (WHO)、国際連合エイズ合同計画 (UNAIDS) 等と連携し、国際的な感染動向及び世界の普及啓発活動について情報共有を図る。

(2) 都道府県、保健所を設置する市及び特別区

関係機関、関係団体等との連携を密にし、それぞれの地域の実情に応じた広報計画、実施計画等に基づき、エイズに関する正しい知識の啓発活動を展開する。

4 厚生労働省が実施する主な事業

【東京でのイベント等】

(1) RED RIBBON LIVE 2010 [11月27日(土) 17:30~21:00 予定]

SHIBUYA-AX において、蒼井そら (タレント)、押尾コータロー (ギタリスト)、加藤鷹 (タレント)、ヒカリゴケ (お笑い芸人)、RYO (ケツメイシ) などによる無料招待のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する。

(2) 街頭キャンペーン [11月27日(土) 13:00~15:00 予定]

渋谷駅周辺において、NGO、ボランティアと協力してエイズ予防啓発グッズを配布する。

(3) HIV 無料検査 [12月4日(土) 11:00~18:00 予定]

渋谷駅付近の特設検査場において、NGO と協力して HIV 無料検査を実施する。

【名古屋でのイベント等】

(1) RED RIBBON LIVE 2010 in NAGOYA

[11月21日(日) 13:00~16:00 予定]

アスナル金山において、荻原桃子 (「MURUA」プロデューサー/FMAICHI パーソナリティ)、FMAICHI パーソナリティ's (川道良明、鈴木理恵、土井真友美、内藤聡)、Kingrass Hoppers (アーティスト)、所英男 (格闘家)、名古屋おもてなし武将隊、nobodyknows+ (アーティスト)、道端アンジェリカ (モデル)、ミドリカワ書房 (歌手) などによる入場無料のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する。

(2) 街頭キャンペーン [11月21日(日) 13:00~16:00 予定]

アスナル金山において、NGO、ボランティア、民間企業と協力してエイズ予防啓発グッズを配布する。

(3) HIV 無料検査 [11月21日(日) 11:00~16:00 予定]

金山総合駅付近の特設検査場において、NGO と協力して HIV 無料検査を実施する。

【その他の取組】

(1) エイズ啓発ポスターの配布

青少年層に対して、HIV/エイズについて関心をもってもらい、また考えるきっかけにするため、小学生、中学生、高校生、一般の部門ごとに最優秀賞、優秀賞等を選出し、(財)エイズ予防財団において表彰式を行うとともに、RED RIBBON LIVE 2010 会場内において作品を掲示する。

また、ポスターコンクール最優秀賞の中から決定した普及啓発ポスターを、官公庁、地方公共団体、エイズ治療拠点病院、映画館等に掲示する。

(2) インターネットによる啓発及び情報提供

- ① RED RIBBON LIVE 2010 の模様を USTREAM でライブ放送 (予定)
- ② Yahoo! JAPAN の独自企画「レッドリボン特集 2010」と連携して、啓発活動をインターネット上で展開。RED RIBBON LIVE 2010 の動画は、後日 Yahoo! JAPAN で配信 (予定)
- ③ 平成 22 年 5 月に開設した「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト (<http://redribbonlive.net/>) において、今回実施するイベント情報を含め、エイズ予防啓発に係る情報等を配信
- ④ エイズ予防情報ネット (API-Net) (<http://api-net.jfap.or.jp/>) において、世界エイズデー前後に全国の自治体で実施されるイベントの紹介及び検査相談体制の案内を掲載

(3) 交通広告の活用による啓発

全国主要都市の多くの人々が利用する JR、私鉄及び地下鉄の各路線で、12月1日前後に、電車内又は駅構内での広告など、交通広告を活用した啓発活動を展開する。

RED RIBBON LIVE 2010 の実施について

- 1 主催
厚生労働省
- 2 総合プロデュース・司会
山本シュウ
- 3 出演者
蒼井そら（タレント）、押尾コータロー（ギタリスト）、加藤鷹（タレント）、ヒカリゴケ（お笑い芸人）、RYO（ケツメイシ）などの賛同者が多数参加（50音順）
- 4 実施内容
ラジオ DJ 山本シュウの呼び掛けに賛同したアーティスト、エンターテイナーたちが SHIBUYA-AX に集結。トークとライブで強烈なメッセージを発信
 - ① 山本シュウ司会によるTVタレント、ミュージシャン、エイズ医療に関する専門家などによるトーク
 - ② 参加アーティストによるライブ
 - ③ イベントの様子は USTREAM でライブ放送するとともに、後日、Yahoo! JAPAN において動画配信（予定）
- 5 開催日時
平成 22 年 11 月 27 日（土） 開場 16:30 開演 17:30～21:00（予定）
- 6 開催場所
SHIBUYA-AX（東京都渋谷区神南 2-1-1）
- 7 参加費
無料（抽選による招待制）
- 8 参加方法
募集期間 11 月 5 日（金）12:00 ～ 11 月 18 日（木）12:00
抽選で 500 名を招待
告知サイト 「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト
<http://redribbonlive.net/>

RED RIBBON LIVE 2010 in NAGOYA の実施について

- 1 主催
厚生労働省
- 2 総合プロデュース・司会
山本シュウ
- 3 出演者
荻原桃子（「MURUA」プロデューサー/FM AICHI パーソナリティ）、FM AICHI パーソナリティ's（川道良明、鈴木理恵、土井真友美、内藤聡）、Kinggrass Hoppers（アーティスト）、所英男（格闘家）、名古屋おもてなし武将隊、nobodyknows+（アーティスト）、道端アンジェリカ（モデル）、ミドリカワ書房（歌手）などの賛同者が多数参加（50音順）
- 4 実施内容
ラジオDJ山本シュウに共鳴した武山宗憲（FM AICHI パーソナリティ）を中心に、FM AICHI の呼び掛けに賛同したアーティストたちがアスナル金山に集結。トークとライブで強烈なメッセージを発信
 - ① 武山宗憲ほか FM AICHI パーソナリティ司会によるミュージシャン、エイズ医療に関する専門家などによるトーク（山本シュウはゲスト出演）
 - ② 参加アーティストによるライブ
- 5 開催日時
平成22年11月21日（日） 開演13:00~16:00（予定）
- 6 開催場所
アスナル金山（愛知県名古屋市中区金山1-17-1）
- 7 参加費
無料

街頭キャンペーンの実施について

【東京】

- 1 日時
平成22年11月27日(土) 13:00~15:00(予定)
- 2 場所
渋谷駅 ハチ公前周辺
- 3 参加団体
厚生労働省、東京都、渋谷区、(財)エイズ予防財団、NGO、学生ボランティア等
- 4 参加者数
40名程度
- 5 実施内容
(財)エイズ予防財団作成のパンフレット、コンドーム等をセットにして配布

【名古屋】

- 1 日時
平成22年11月21日(日) 13:00~16:00(予定)
- 2 場所
アスナル金山(愛知県名古屋市中区金山1-17-1)
- 3 参加団体
厚生労働省、愛知県、名古屋市、(財)エイズ予防財団、FM AICHI、NGO、学生ボランティア等
- 4 参加者数
10~20名程度
- 5 実施内容
(財)エイズ予防財団作成のパンフレット、コンドーム等をセットにして配布

HIV 無料検査の実施について

【東京】

- 1 日時
平成 22 年 12 月 4 日 (土) 11:00~18:00 (受付は 11:00~14:00) (予定)
※検査は事前予約制とし、先着 100 名までとする。
- 2 場所
シブヤ・ネクサス
〔 東京都渋谷区道玄坂 2-9-9 梅原ビル 〕
〔 JR 渋谷駅ハチ公口徒歩 2 分 〕
- 3 検査主体
(財) エイズ予防財団、HIV と人権・情報センター、渋谷区保健所
- 4 検査の種類
即日検査 (検査結果は当日お知らせします。)
- 5 予約方法
事前予約制
〔 予約受付期間 11 月 8 日 (月) ~12 月 3 日 (金) 〕
〔 予約受付時間 12:00~18:00 (月曜日から金曜日まで) 〕
〔 電話番号 03-5259-0255 にご連絡の上、検査の時間等の予約を 〕
〔 お願いします。 〕

【名古屋】

1 日時

平成 22 年 11 月 21 日（日） 11:00～16:00（受付は 11:00～13:00）

（予定）

※検査は事前予約制とし、先着 50 名までとする。

2 場所

金山総合駅南口特設検査会場

（愛知県名古屋市中区金山町 1-1-1 名古屋都市センター14 階
金山総合駅南口駅前）

3 検査主体

（財）エイズ予防財団、HIV と人権・情報センター

4 検査の種類

即日検査（検査結果は当日お知らせします。）

5 予約方法

事前予約制

（予約受付期間 10 月 26 日（火）～ 11 月 20 日（土）
予約受付時間 毎週火・木曜日 16:00～21:00
毎週土曜日 13:00～18:00

電話番号 052-831-2228 にご連絡の上、検査の時間等の予約をお願いします。）

交通広告の活用による啓発について

1 概要

全国主要都市の多くの人々が利用する JR、私鉄及び地下鉄の各路線と、羽田空港駅を中心とした京浜急行線で、12月1日前後に、電車内又は駅構内での広告など、交通広告を活用した啓発活動を展開する。

2 実施内容及び期間

(1) 全国主要都市の JR、私鉄及び地下鉄の各路線での啓発ポスターの中吊り等

- ① 札幌地下鉄（南北線、東西線、東豊線）
期間：11月29日（月）～12月5日（日）
- ② JR 仙石線（あおば通～仙台～石巻）
期間：12月1日（水）～12月6日（月）
- ③ 仙台地下鉄南北線（泉中央～仙台～富沢）
期間：11月27日（土）～12月3日（金）
- ④ JR 京浜東北線（大宮～大船）
期間：12月1日（水）～12月7日（火）
- ⑤ JR 埼京線・りんかい線（川越～大崎～新木場）
期間：12月1日（水）～12月7日（火）
- ⑥ 名古屋鉄道特急（名鉄岐阜・新鵜沼～豊橋・中部国際空港など）
期間：11月30日（火）～12月13日（月）
- ⑦ 大阪地下鉄6線（御堂筋線・谷町線・四つ橋線・中央線・千日前線・堺筋線）
期間：11月30日（火）～12月1日（水）
- ⑧ JR 鹿児島本線ほか（門司港～荒尾・宇佐・佐世保）
期間：12月1日（水）～12月12日（日）
- ⑨ 福岡地下鉄（空港線・箱崎線）
期間：11月29日（月）～12月4日（土）

(2) 羽田空港駅を中心とした京浜急行線での啓発ポスター等による交通広告の集中展開

- ① 羽田空港駅構内での啓発ポスターの集中的な掲示
期間：12月1日（水）～12月7日（火）
- ② 羽田空港駅ホームでの啓発フラッグの掲出
- ③ 全車両での啓発ポスターの中吊り
- ④ 各駅での啓発ポスターの掲示
②～④の期間：11月29日（月）～12月12日（日）

平成 22 年度「世界エイズデー」実施要綱

1 名 称

平成 22 年度「世界エイズデー」

2 趣 旨

WHO（世界保健機関）は、1988 年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12 月 1 日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱した。

1996 年から、WHO に代わって、国連のエイズ対策の総合調整を行うこととなった UNAIDS（国連共同エイズ計画）もこの活動を継承しているところである。

我が国としても UNAIDS が提唱する“World AIDS Day”に賛同し、その趣旨を踏まえ、12 月 1 日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進し、エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図る。

3 主 題（キャンペーンテーマ）

「続けよう ～Keep the promise, Keep your life～」

趣旨等については、別紙「平成 22 年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマについて」を参照のこと。

4 期 日

平成 22 年 12 月 1 日。ただし、地域の実情等に応じ、12 月 1 日を中心とした前後の日でも差し支えないものとする。

5 主 唱

厚生労働省

6 実施方法

(1) 厚生労働省

関係行政機関、財団法人エイズ予防財団、エイズ関連 NGO（非政府組織）等の関係団体、民間企業、報道機関等の協力を得て、全国的な啓発活動の推進を図る。主として 12 月 1 日を中心とした前後の日に記念事業を行うほか、年間を通じた普及啓発のためのキャンペーンを実施する。

(2) 都道府県、保健所を設置する市及び特別区

関係機関、関係団体等との連携を密にし、それぞれの地域の実情に応じた広報計

画、実施計画等に基づき、次の事項も参考にしながらエイズに関する正しい知識の啓発活動を展開する。

- ① 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画等の協力を得た広報活動の実施
- ② ポスター、パンフレット、リーフレット、ビデオ等の作成・配布等による啓発活動の実施
- ③ 研修会、講習会、講演会、シンポジウム、街頭キャンペーン等の実施
- ④ 学校、企業、地区組織等に対する呼びかけ及び協力
- ⑤ 一般住民のみならず、相談窓口職員、医療従事者、教育関係者等への啓発

なお、啓発活動を行うに当たっては、エイズに関する最新の情報を入手するとともに、平成18年3月31日付健疾発第0331001号厚生労働省健康局疾病対策課長通知「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の運用について」を参考とすること。

7 普及啓発における留意点

(1) 個別施策層に焦点を当てた普及啓発

後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針（平成18年厚生労働省告示第89号）の趣旨を踏まえ、我が国に在住するすべての人々に対して、正しい知識の普及啓発の強化を図ること。特に、性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年、言語的障壁や文化的障壁のある外国人、性的指向の側面で配慮の必要な同性愛者並びに性感染症としてのHIV対策を進める観点から性風俗産業の従事者及び利用者への取組を促進すること。

(2) 人権の尊重

エイズは、HIV感染後も長い無症状期を社会の一員として生活を営む病気であり、周囲の人々の理解と支援が必要であること。したがって、患者・感染者が尊厳をもって暮らせる社会づくりが必要であること。

HIVの感染力は弱く、しかも感染経路が限られているので、日常生活ではHIVに感染することはないこと。

特に医療現場における患者・感染者の受入れを改善していくために、エイズに対する社会全体の意識の向上と、エイズ診療に取り組む医療関係者への支援を訴え、患者・感染者が安心して医療を受けられる環境づくりを進めること。

(3) HIV治療の進歩と検査・早期治療の重要性

HIV治療の進歩に伴い、患者・感染者が長期間障害を持ちながらも療養できるようになったことから、平成10年4月から感染者は身体障害者の認定を受けられるようになったこと。また、身近な医療機関で適切な治療を受けられる体制がほぼ整いつつあること。

早期発見による適切な治療の効果がますます高まっていること、検査は医療機関

や最寄りの保健所等で受けることができること等の周知を図り、自発的に検査を受けやすい環境の整備に努めること。

なお、厚生労働省においては、検査・相談の利用に係る情報について、各種イベント等集客が多い機会を利用し、積極的に国民への周知を図るが、都道府県、保健所を設置する市及び特別区においても、地域の実情に応じて、積極的に情報の周知に努めること。

(4) 日本エイズストップ基金

財団法人エイズ予防財団には、「日本エイズストップ基金」が設置されており、募金を通じてNGO等を支援しているので、その活動等について周知すること。

8 その他

広報の実施に当たっては、患者・感染者等の人権や社会的背景に配慮するとともに、血友病患者やその家族に対する配慮が必要である。

平成 22 年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマについて

1 キャンペーンテーマ

「続けよう ～Keep the promise, Keep your life～」

2 趣旨

本キャンペーンテーマは、エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図るためには、医療機関、民間企業、行政機関、NGO等のエイズ対策関係者がそれぞれの活動に取り組み続けることはもちろんのこと、我が国に在住するすべての人々がエイズ対策関係者の活動や患者・感染者に対する理解を深めるなど、HIV/エイズに対する関心を持ち続けることが重要であることを踏まえ、主として、次に掲げるメッセージを発信するものである。

① 仕事も生活も続けよう

HIVに感染している人が初めて感染を知ったときに、ショックと混乱で今までの生活が続けられないと思ってしまう。思いあまって会社を辞めてしまう。そんな話をしばしば聞きます。でも、辞める必要は全くありません。仕事を含め Keep your life、今の生活を維持し、その基盤の上に治療を考えていくことが大切です。

② 抗レトロウイルス治療を続けよう

HIV感染が分かったら、生活を維持しつつ、適切な時期に治療を開始することで、エイズの発症や発症した場合の病状の進行を抑えることが可能になります。HIVというウイルスが体内で増えることを妨げる抗レトロウイルス薬（ARV）を複数組み合わせる抗レトロウイルス治療（ART）を開始したら、途中で止めずに治療を続けることが大切です。

③ エイズの流行と闘う人達を支え続けよう

厚生労働省エイズ動向委員会の報告（2009年）では、男性同性間の性感染がHIV新規感染者報告のほぼ7割、エイズ患者報告のほぼ5割を占めています。大都市圏のゲイコミュニティで予防や検査を呼びかけてきた成果の反映ではありますが、同時に国内のHIV感染が少なくともこの10年、ゲイコミュニティを中心に広がってきたことを示唆するデータでもあります。感染の現状に対応し、予防対策は男性同性間の性感染に焦点を当てる必要があります。ただし、その努力はゲイコミュニティだけで完結するものではありません。エイズの流行に大きな影響を受けているコミュニティを取り巻く人と社会が広くその努力の必要性を理解し、支援することがエイズとの困難な闘いを継続する大きな力になります。

④ 予防と支援のメッセージを送り続けよう

エイズの流行が世界に広がり始めてから既に約30年が経過しています。何度も同じメッセージを繰り返されたのでは、さすがに心には届きません。送り手も疲れてきます。HIVはそうした厭戦ムードを糧に広がるウイルスでもあります。縁あってエイズ対策に関心

を持った人達が疲れ切ってしまうまいよう、予防、治療や支援のメッセージを楽しく送り続けられる工夫と励ましも大切です。

⑤ ユニバーサルアクセスを目指し続けよう

HIV/エイズに関する予防、治療、ケアや支援を必要とする人が、誰でもその必要なサービスを利用できる。それがユニバーサルアクセスです。日本を含む世界中の国が2010年12月末までにユニバーサルアクセスを達成することを約束しています。その約束は果たせそうにありませんが、実現に向けた努力は約束期限が過ぎても続ける必要があります。それがKeep the promise、約束を守ることです。

⑥ 関心を持ち続けよう

以上のすべてのことは、エイズ対策への社会的な理解が広がり、関心を持つ人が増えることで初めて可能になります。感染症に対する関心はその時々での社会の出来事や雰囲気によって変化しますが、HIVは社会の雰囲気や一時的な対策の盛り上がりで流行が拡大したり、終息したりするタイプのウイルスではありません。対策もまた息長く続ける必要があります。HIV陽性者は既に会社、学校、病院、近所の商店街や同じ団地や…といった様々な場所で生活しています。もう既に社会の中で一緒に生きている。そのことを理解できる機会が増えれば、HIV/エイズは他人事ではないといったメッセージも、異なる意味を持って伝わってくるかもしれません。

3 留意点

上記2の趣旨に対する理解の促進を図るために、本キャンペーンテーマの使用に当たっては、次に例示するメッセージを添えるもののほか、適宜、上記2の趣旨及びメッセージを周知するものとする。

① 例1

続けよう ～Keep the promise, Keep your life～

エイズの原因となるHIVというウイルスに感染しても仕事をやめることはないし、生活も続けられます。治療の進歩は、安心して検査を受けられる条件を整え、予防対策にも貢献しています。エイズに取り組み続けたたくさんの方がいてここまでできました。社会の理解が広がり、関心を持つ人が増える。治療も予防も、そのことに支えられています。

② 例2

続けよう ～Keep the promise, Keep your life～

仕事も生活も続けよう
抗レトロウイルス治療を続けよう
エイズの流行と闘う人達を支え続けよう
予防と支援のメッセージを送り続けよう
ユニバーサルアクセスを目指し続けよう
関心を持ち続けよう

明日を守る。生活を守る。今こそそのメッセージを伝えたい。
やめないこと、続けることが大切だ。

平成22年度「世界エイズデー」前後における検査・相談体制 (平成22年10月19日現在)

	夜間検査		休日検査		迅速検査		エイズデーに関連したイベント等の取組
	平常時	エイズデー	平常時	エイズデー	平常時	エイズデー	
1 北海道	○	●			○	●	○
2 青森県					○	●	○
3 岩手県	○	●		●	○	●	○
4 宮城県		●			○	●	○
5 秋田県	○	●		●	○	●	○
6 山形県		●			○	●	○
7 福島県	○				○		○
8 茨城県	○				○	●	○
9 栃木県		●			○	●	○
10 群馬県	○	●			○	●	○
11 埼玉県	○		○	●	○	●	○
12 千葉県	○		○	●	○	●	○
13 東京都	○	●	○	●	○	●	○
14 神奈川県	○		○	●	○	●	○
15 新潟県	○			●	○	●	○
16 富山県		●		●	○	●	○
17 石川県	○	●	○	●	○	●	○
18 福井県	○	●	○	●	○	●	○
19 山梨県	○	●			○	●	○
20 長野県	○	●		●	○	●	○
21 岐阜県	○	●		●	○	●	○
22 静岡県	○		○	●	○		○
23 愛知県	○		○	●	○	●	○
24 三重県	○	●			○		○
25 滋賀県					○		○
26 京都府	○	●			○	●	○
27 大阪府	○		○		○	●	○
28 兵庫県		●	○	●	○	●	○
29 奈良県	○	●		●	○	●	○
30 和歌山県	○				○	●	○
31 鳥取県		●		●	○	●	○
32 島根県		●			○	●	○
33 岡山県		●					○
34 広島県		●		●		●	○
35 山口県	○	●			○	●	○
36 徳島県	○	●			○	●	○
37 香川県		●		●	○	●	○
38 愛媛県		●		●	○	●	○
39 高知県	○	●			○	●	○
40 福岡県		●		●	○	●	○
41 佐賀県	○	●			○	●	○
42 長崎県	○	●	○	●	○	●	○
43 熊本県	○	●			○	●	○
44 大分県		●		●	○	●	○
45 宮崎県	○		○		○		○
46 鹿児島県		●		●	○	●	○
47 沖縄県	○				○	●	○
48 札幌市	○	●		●		●	○
49 仙台市	○		○		○	●	○
50 さいたま市	○	●	○	●	○		○
51 千葉市	○			●	○		○
52 川崎市		●	○	●	○	●	○
53 横浜市	○	●	○		○		○
54 相模原市						●	○
55 新潟市	○		○	●	○	●	○
56 静岡市	○	●				●	○
57 浜松市	○	●	○	●		●	○
58 名古屋市	○		○		○		○
59 京都市	○	●	○	●	○	●	○
60 大阪市	○		○		○		○
61 堺市		●		●		●	○
62 神戸市	○		○	●	○	●	○
63 岡山市	○	●					○
64 広島市	○			●	○	●	○
65 福岡市			○	●	○	●	○
66 北九州市				●		●	○

都道府県(47)

指定都市(19)

(注1) ○…平常から実施している自治体
●…世界エイズデー前後に実施し、又は実施を強化する自治体

(注2) 夜間検査…保健所閉所(17:00)以降に実施する検査
休日検査…土日・休日に実施する検査
迅速検査…迅速検査キットを使用し、即日で結果の分かる検査

	夜間検査		休日検査		迅速検査		エイズデーに関連したイベント等の取組
	平常時	エイズデー	平常時	エイズデー	平常時	エイズデー	
67 旭川市	○		○	●	○		○
68 函館市			○		○		○
69 青森市					○		○
70 盛岡市					○	●	○
71 秋田市	○	●		●	○	●	○
72 郡山市	○		○		○		○
73 いわき市	○				○		○
74 宇都宮市		●	○		○	●	○
75 前橋市					○	●	○
76 川越市	○			●	○		○
77 船橋市			○	●	○	●	○
78 柏市	○	●	○	●	○	●	○
79 横須賀市	○	●	○	●	○	●	○
80 富山市		●		●	○		○
81 金沢市	○		○	●		●	○
82 長野市	○			●	○		○
83 岐阜市	○				○		○
84 豊田市	○				○	●	○
85 岡崎市	○	●			○	●	○
86 豊橋市		●		●	○	●	○
87 大津市					○		○
88 高槻市		●					○
89 東大阪市		●				●	○
90 姫路市	○			●	○	●	○
91 西宮市	○				○		○
92 尼崎市							○
93 奈良市				●	○	●	○
94 和歌山市	○			●		●	○
95 倉敷市	○			●	○	●	○
96 福山市	○			●	○	●	○
97 下関市	○			●			○
98 高松市	○	●					○
99 松山市	○	●					○
100 高知市	○	●					○
101 久留米市		●				●	○
102 長崎市		●		●	○	●	○
103 熊本市		●		●	○	●	○
104 大分市	○			●	○	●	○
105 宮崎市	○				○		○
106 鹿児島市	○	●		●	○	●	○
107 小樽市					○	●	○
108 八王子市					○		○
109 藤沢市				●	○	●	○
110 四日市市							○
111 呉市		●					○
112 大牟田市		●			○	●	○
113 佐世保市	○	●	○	●	○	●	○
114 千代田区				●		●	○
115 中央区							○
116 港区		●	○	●			○
117 新宿区		●					○
118 文京区							○
119 台東区					○		○
120 墨田区						●	○
121 江東区		●				●	○
122 品川区							○
123 目黒区							○
124 大田区							○
125 世田谷区		●					○
126 渋谷区				●		●	○
127 中野区			○		○		○
128 杉並区			○		○		○
129 豊島区						●	○
130 北区						●	○
131 荒川区							○
132 板橋区							○
133 練馬区							○
134 足立区					○		○
135 葛飾区					○	●	○
136 江戸川区							○

中核市(40)

保健所設置市(7)

特別区(23)

計	70	65	35	63	98	87	121
割合(%)	51.5	47.8	25.7	46.3	72.1	64.0	89.0

エイズ広報を行う際の留意事項(不適切な表現等)

患者・感染者を傷つけたり、差別、偏見を助長するような表現は避ける

- ◇エイズ撲滅、エイズ抑圧、エイズ根絶
→エイズ克服、エイズ蔓延の防止、エイズストップ、患者・感染者に対する差別と偏見の解消、という表現が望ましい。
- ◇エイズをたたきのめす、やっつける
→患者・感染者を排除しようとするイメージを与える。
- ◇エイズ汚染、エイズ禍、ウイルスをまき散らす
→患者・感染者が社会を汚しているというイメージを与える。
- ◇理性ある行動をとるべき、節度ある行動をとるべき
→患者・感染者はだらしがない人というイメージを与える。
- ◇ハイリスクの人、エイズ多発国、エイズ先進国
→危険なのは、人ではなくハイリスクな行動
- ◇(発病すれば)必ず(100%)死ぬ
→死は誰にも等しく起きる現象であり、エイズ特有のものではない(エイズ=死という概念そのものが間違っている。)
また、最近では治療方法・治療薬の向上等により慢性疾患的な意味合いも強くなってきている。
- ◇エイズの恐怖・魔の手、忍び寄るエイズ
→いたずらに恐怖心をあおる表現は避ける。
- ◇ホモ(正確にはホモセクシュアル)
→蔑称として使われることが多い。男性同性愛者又はゲイであれば適切
- ◇レズ
→ホモとセットで蔑称として使われている。正確にレズビアン又は、女性同性愛者等とする。
- ◇多数との無防備なセックス
→相手が多数でなければ大丈夫という誤解を与える。
- ◇コンドームを使うのは男の役割
→コンドームはお互いの責任で使用するものであり、また、女子のコンドーム使用を阻害する可能性、女性用コンドームの使用を否定すること等につながる恐れがある。
- ◇「一般の」、「普通の」、「特別の」、「一般の社会生活」、「普通の生活」
→セックスは日常生活の一部としてとらえることができるので、このような形容詞は誤解を与える可能性がある。セックス以外では感染しない等の補足が必要。